

認知症に関する活動計画（概要）

山梨県作業療法士会では、「山梨県の認知症支援に関して、作業療法士ができることを考え、実践する」をスローガンに、地域に向けた活動に重きを置いて活動を行っている。

認知症スタンプラリーの開催(2025/6/1)

コロナ過より休止していた認知症スタンプラリーを当委員会主催（共同;山梨県リハ専門職団体協議会 認知症対策推進委員会）により 5年ぶりに開催した。13のブース(歯科衛生士や栄養士等に加え、スターバックスコーヒーなど医療・介護・福祉と直接関係のない団体からも協力が得られた)と3つのショータイム(けん玉や少林寺拳法の演舞、認知症当事者によるヨガ体験)を行った。総勢300名の参加者により盛大に開催できた。



地域での認知症啓発イベント協力

今年度も市町村主催の認知症関連に加え企業主催のイベントへの協力と市町村や家族会主催で開催されている認知症カフェでの、ミニ講座やカフェ立ち上げ準備等の協力支援を行う予定である。またRun伴への参加協力も継続する予定である（写真は昨年9/21にブースを担当した際のもの）。



認知症の人と家族の会との連携事業

昨年度より当委員会が認知症の人と家族の会の世話人として関わることになり、お互いの理解を深めることを目的とした研修会「第1回認知症の人と家族の会と作業療法士会の座談会」を開催した（2025/2/16）。その他、定期的な世話人会への出席し、今年度は巡回交流会（2025/7/10）で講師を務める。



講座開催

県や市町村、県内団体や企業などからの依頼を受け、認知症サポーター養成講座を開催している。また、市町村や老人クラブ等から依頼を受け、認知症予防講座や認知症ボランティア養成講座の講師を担当する予定である。